

## 6. 人員と役割

### 1) 統括責任者

1名。 OSCE 全体の統括。全フロアを統括し、問題が生じた場合の対応責任者。  
OSCE 開始時の司会、受験者への注意事項等説明

### 2) フロア責任者

4名(各フロア1名) :ただし、各フロアに2列試験室を設置することとすれば2名

### 3) 総合責任者(事務系)

1名 事務方の総合責任

### 4) 評価者

評価者は各 ST に2名。総計64名。

この他に、緊急時のバックアップ要員として各 ST に1名の評価者(最大8名)の待機が望ましい。医療面接の注意事項や身体診察で必要に応じて簡単な演技をしてもらうなどの指示もこのバックアップ要員が担当する(各 ST 1名)。

### 5) SP

ST の設定に依存する。最大32名

### 6) 受験者集合室監督要員

スタッフ2名。受験者用の荷物・携帯など保管。

### 7) 受験前控室要員(誘導係兼任)

各フロアでスタッフ1名。総計4名。受験者を OSCE 前の待機室に引率し、OSCE 開始時には受験者の ST への入室を誘導する。

### 8) 受験後控室

スタッフ1名。試験後の受験者の管理。アンケート用紙の配布と回収。

### 9) 試験運営管理室

スタッフ2名。課題シート、評価表、評価マニュアルの準備と ST の設営。試験開始後は各フロアとの連絡などを行う。

### 10) 事務系補助要員

各列1名。フロア責任者を補佐し、各フロアの進行をチェックする。トラブル発生時には携帯無線機で連絡する。

### 11) タイムキーパー(時計係)

各監視記録室に1名。時間の管理を行う。フロア放送で試験の開始・終了の指示を行う。

### 12) 記録監視

2列ごとに監視記録員1名、技術スタッフ1名。画面で各 ST の状況を確認する。試験の開始・終了を確認する。タイムキーパーと協力してフロア全体の進行を調節する。

### 13) 受付

4名。評価者、受験者等の受付(午前のみ)

#### 14) 評価表データ入力要員

1名。評価表を事前チェックし、試験結果の読み取り、入力、集計を行う。

### 7. 試験資料、物品等

#### 1) 課題シート

各STには、透明のハードケースに挿入した課題シートを準備する。

#### 2) 評価表

評価者ごとの評価表を準備する。

#### 3) 評価マニュアル

各STに評価者人数分のマニュアルを準備する。

#### 4) 筆記用具

評価シートは鉛筆で記入する。ST内に筆記用具と消しゴムを準備する。

#### 5) シミュレーター

必要数を設置し、動作等の確認を事前に行っておく。

#### 6) 机、椅子、ベッド、ごみ箱（感染用・非感染用）、時計等

### 8. 昼食

評価者、模擬患者、スタッフの総数の昼食を準備する。

### 9. 受験者への指導手順（スタッフ注意事項）

1) 集合時出席をとり、番号札を渡す。

2) 遅刻者（欠席者）がいる場合は、事務系総合責任者に連絡する。試験に間に合わない受験者が発生した場合も同じ。

3) 携帯電話・パソコンを待っているものは入室前にロッカーに保管させる。

4) 着衣、白衣着用、聴診器、秒針付時計再確認。

5) トイレ等の退出時は他受験者と私話しないように注意する。

6) 常に静粛にするように、指導する。

7) 待機場所での飲食は原則禁止（小さなペットボトルなどでの水分補給は可）。

8) OSCE 受験中に携帯電話を身につけている受験者が発見された場合は処分の対象となる。

### 10. 時計係（指令室）スタッフマニュアル

館内放送

① 「受験者は入室して、課題表に目を通してください」

↓

② 「試験の準備が整ったら、評価者は天井のカメラに向かって合図をしてください」

- ↓
- ③ フロアの全 ST の準備が整ったか監視記録画面で確認する
- ↓
- ④ 準備完了すれば「試験を開始してください」タイマーをセットする
- ↓
- ⑤ 試験時間が終了（医療面接は 10 分、その他の身体診察は 5 分）したら、「試験は終了してください。直ちに次の部屋に移ってください（グループが一巡しておれば：「廊下に出て、スタッフの指示に従って移動してください）」
- ↓
- ⑥ グループが終了すれば、ローテーション表にマークを入れ確認する。

## 1 1. 危機管理事項

### 1) 緊急連絡先

総合責任者（事務系）連絡：

(TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ mail \_\_\_\_\_)

統括責任者：

(TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ mail \_\_\_\_\_)

### 2) 問題事象発生時の連絡方法 適宜状況判断が必要。

#### ① 現場担当者

↓

#### ② フロア責任者

↓

#### ③ 総合責任者

↓

#### ④ 統括責任者

### 3) トラブル事例マニュアル

#### (1) 受験者の緊急事態

- ① けがや気分が悪いなどの事例は、各フロア責任者→総合責任者に連絡し、指示を受ける。
- ② 受験者の遅刻・欠席：事務統括責任者に連絡する。可能であれば本人に電話確認等を行う。

#### (2) 評価者の遅刻、病欠等

統括責任者の指示で、バックアップ要員が代行する

(3) OSCE ステーションにおける試験時間の遅れ

- ① 試験時間になっても、フロアに学生が到着しない場合：到着するまで待ち、到着後直ちに試験を開始する。
- ② 5分以上試験終了が遅れた場合：何分遅れて試験が終了したかを総合責任者(事務系)、統括責任者に連絡し指示を仰ぐ。
- ③ 試験時間の調整：総合責任者の指示により、遅れた時間が短時間である場合は休憩時間等で調整し、各フロアを同一の遅れになるように修正する。
- ④ 何らかの原因で試験を実行できない場合は、直ちに総合責任者(事務系)、統括責任者に連絡し指示を仰ぐ。

参考： 受験者ローテーション表（1列分）

|      |             | 午前 8名受験者 (8ST) |               |     |     |     |     |     |     |   |  |
|------|-------------|----------------|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|--|
|      |             | ST1            | ST2           | ST3 | ST4 | ST5 | ST6 | ST7 | ST8 |   |  |
|      |             | A領域            |               | B領域 |     | C領域 |     | D領域 |     |   |  |
|      |             | E領域            |               | F領域 |     | G領域 |     | H領域 |     |   |  |
|      |             | I領域            |               | J領域 |     | K領域 |     | L領域 |     |   |  |
| 試験説明 | 9:00~9:30   | 30分            | 試験待機室に9時00分移動 |     |     |     |     |     |     |   |  |
| 第1巡回 | 9:30~9:48   | 18分            | 1             | 2   | 3   | 4   | 5   | 6   | 7   | 8 |  |
| 第2巡回 | 9:48~10:06  | 18分            | 8             | 1   | 2   | 3   | 4   | 5   | 6   | 7 |  |
| 第3巡回 | 10:06~10:24 | 18分            | 7             | 8   | 1   | 2   | 3   | 4   | 5   | 6 |  |
| 第4巡回 | 10:24~10:42 | 18分            | 6             | 7   | 8   | 1   | 2   | 3   | 4   | 5 |  |
| 第5巡回 | 10:42~11:00 | 18分            | 5             | 6   | 7   | 8   | 1   | 2   | 3   | 4 |  |
| 第6巡回 | 11:00~11:18 | 18分            | 4             | 5   | 6   | 7   | 8   | 1   | 2   | 3 |  |
| 第7巡回 | 11:18~11:36 | 18分            | 3             | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   | 1   | 2 |  |
| 第8巡回 | 11:36~11:54 | 18分            | 2             | 3   | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   | 1 |  |

|      |             | 午後 16名受験者 (8ST) |     |     |     |     |     |     |     |    |  |
|------|-------------|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|--|
|      |             | ST1             | ST2 | ST3 | ST4 | ST5 | ST6 | ST7 | ST8 |    |  |
|      |             | A領域             |     | B領域 |     | C領域 |     | D領域 |     |    |  |
|      |             | E領域             |     | F領域 |     | G領域 |     | H領域 |     |    |  |
|      |             | I領域             |     | J領域 |     | K領域 |     | L領域 |     |    |  |
| 第1巡回 | 13:00~13:18 | 18分             | 9   | 10  | 11  | 12  | 13  | 14  | 15  | 16 |  |
| 第2巡回 | 13:18~13:36 | 18分             | 16  | 9   | 10  | 11  | 12  | 13  | 14  | 15 |  |
| 第3巡回 | 13:36~13:54 | 18分             | 15  | 16  | 9   | 10  | 11  | 12  | 13  | 14 |  |
| 第4巡回 | 13:54~14:12 | 18分             | 14  | 15  | 16  | 9   | 10  | 11  | 12  | 13 |  |
| 第5巡回 | 14:12~14:30 | 18分             | 13  | 14  | 15  | 16  | 9   | 10  | 11  | 12 |  |
| 第6巡回 | 14:30~14:48 | 18分             | 12  | 13  | 14  | 15  | 16  | 9   | 10  | 11 |  |
| 第7巡回 | 14:48~15:00 | 18分             | 11  | 12  | 13  | 14  | 15  | 16  | 9   | 10 |  |
| 第8巡回 | 15:00~15:18 | 18分             | 10  | 11  | 12  | 13  | 14  | 15  | 16  | 9  |  |
|      | 15:18~15:30 | 12分             | 休憩  |     |     |     |     |     |     |    |  |
| 第1巡回 | 15:30~15:48 | 18分             | 17  | 18  | 19  | 20  | 21  | 22  | 23  | 24 |  |
| 第2巡回 | 15:48~16:00 | 18分             | 24  | 17  | 18  | 19  | 20  | 21  | 22  | 23 |  |
| 第3巡回 | 16:00~16:18 | 18分             | 23  | 24  | 17  | 18  | 19  | 20  | 21  | 22 |  |
| 第4巡回 | 16:18~16:36 | 18分             | 22  | 23  | 24  | 17  | 18  | 19  | 20  | 21 |  |
| 第5巡回 | 16:36~16:54 | 18分             | 21  | 22  | 23  | 24  | 17  | 18  | 19  | 20 |  |
| 第6巡回 | 16:54~17:12 | 18分             | 20  | 21  | 22  | 23  | 24  | 17  | 18  | 19 |  |
| 第7巡回 | 17:12~17:30 | 18分             | 19  | 20  | 21  | 22  | 23  | 24  | 17  | 18 |  |
| 第8巡回 | 17:30~17:48 | 18分             | 18  | 19  | 20  | 21  | 22  | 23  | 24  | 17 |  |



## 第7章 事後評価、成績確定、追試験・再試験について

### 1. 事後評価

- 1) 目的：試験の妥当性、信頼性を担保するため。試験課題や運営システムの見直しのため。
- 2) 2004年の大阪トライアルのデータをもとにした試算によると、8ステーション、評価者各2名でG係数=0.84、各1名としてG係数=0.79となる。
- 3) 評価データから評価項目ごとの難易度と評価者間の級内相関係数を算出し、除外項目の設定、課題（評価表と評価マニュアル）の見直し、評価者講習の見直しおよび認定評価者の質の担保に資する。
- 4) 評価表の得点率を算出し、課題の見直しおよび異なる課題を受験した受験者間の得点調整に用いる。
- 5) 評価者の評価結果とビデオを照合し、抜き打ちで評価の適正度のチェックを行う。
- 6) 受験者の課題セットおよび試験会場ごとにG係数を算出し、試験の信頼性の検証および評価者講習の見直しに資する。

### 2. 成績確定

- 1) 合否判定レベルの設定は総得点の修正アンゴフ法と概略評価で行う。
- 2) 下記のものは不合格とする。
  - (1) 8ステーションの総得点が低い受験者
  - (2) 複数のステーションで概略評価が低い受験者（コミュニケーション・医療安全など）  
※不合格を確定するときは別の評価者がビデオ判定を行う。
- 3) 下記の項目の評価を重視する
  - (1) コミュニケーションスキル
  - (2) 医療安全

### 3. 追試験・再試験

- 1) 同一年度内に一回の追再試験を行う。
- 2) 全国1か所で一定期間後に実施する。